

## 退職給付関係情報(連結情報)

### ■ 退職給付債務に関する事項

(単位: 億円)

	平成13年3月末	平成14年3月末
退職給付債務(A)	△ 2,786	△ 2,802
年金資産(B)	1,623	2,414
未積立退職給付債務(C) = (A) + (B)	△ 1,163	△ 388
会計基準変更時差異の未処理額(D)	765	620
未認識数理計算上の差異(E)	242	537
未認識過去勤務債務(F)	—	27
連結貸借対照表計上額純額(G) = (C) + (D) + (E) + (F)	△ 155	797
前払年金費用(H)	18	809
退職給付引当金(G) - (H)	△ 174	△ 12

- (注) 1. 厚生年金基金の代行部分を含めて記載しております。  
 2. 平成12年3月31日付で厚生年金保険法が改正されたことに伴い、平成13年3月期において当行及び一部の連結子会社の厚生年金基金の代行部分に係る支給開始年齢の引き上げについての規約改正を行ったため、過去勤務債務(債務の減額)が発生しております。  
 3. 臨時に支払う割増退職金は含めておりません。  
 4. 一部の連結子会社は、退職給付債務の算定にあたり、簡便法を採用しております。  
 5. 上記のほか、自社の拠出に対応する年金資産の額を合理的に計算することができない複数事業主制度に係る年金資産(時価)が平成13年3月期1,249百万円、平成14年3月期1,051百万円あります。  
 6. 連結子会社であるコスモ証券株式会社は平成14年2月26日に、厚生労働大臣の認可を受け、「コスモ証券厚生年金基金」を解散いたしました。当該解散に伴う影響は額は次のとおりであります。
- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 退職給付債務の減少額           | 20,419百万円 |
| 年金資産の減少額(△)          | 9,276百万円  |
| 会計基準変更時差異の費用処理額(△)   | 6,239百万円  |
| 未認識数理計算上の差異の費用処理額(△) | 3,864百万円  |
| 特別利益計上額              | 1,039百万円  |

### ■ 退職給付費用に関する事項

(単位: 億円)

	平成13年3月期	平成14年3月期
勤務費用(注)1	61	61
利息費用	95	96
期待運用収益	△ 79	△ 75
過去勤務債務の費用処理額	△ 35(注)2	3
数理計算上の差異の費用処理額	—	24
会計基準変更時差異の費用処理額	82	81
退職給付費用	124	192

- (注) 1. 厚生年金基金に対する従業員拠出額を控除しております。  
 2. 「退職給付債務に関する事項」(注)2に記載の過去勤務債務に係る平成13年3月期の損益処理額であります。  
 3. 簡便法を採用している連結子会社の会計基準変更時差異以外の退職給付費用は、一括して「勤務費用」に含めて計上しております。

### ■ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

(単位: 億円)

	平成13年3月末	平成14年3月末
(1) 割引率	3.5%	2.5~3.0%
(2) 期待運用収益率	4.5%	4.5%
(3) 退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準	期間定額基準
(4) 過去勤務債務の額の処理年数	1年	1年~8年 その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法による。
(5) 数理計算上の差異の処理年数	10年 発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法により、翌連結会計年度から費用処理することとしている。	8年~10年 各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数による定額法により按分した額を、それぞれ発生時の翌連結会計年度から費用処理することとしている。
(6) 会計基準変更時差異の処理年数	・当行 10年 ・コスモ証券株式会社 15年 ・その他の連結子会社 1年~10年	・当行 10年 ・連結子会社 1年 コスモ証券株式会社は当連結会計年度に厚生年金基金を解散したことに伴い全額費用処理している。